

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム モン・サン井手園
(ユニット名)	モン・サン井手園 I (2階)
所在地 (県・市町村名)	長崎県西彼杵郡時津町元村郷897
記入者名 (管理者)	長井 幸一
記入日	平成 20 年 2 月 15 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>家庭的な明るく、温かい空間の中で、入居者一人ひとりの思いを大切に、地域密着型サービスとしての、事業所独自の理念を作りあげています。</p> <p>○</p>	<p>モン・サン井手園の運営理念は、「 やさしく・楽しく・元気よく 」を掲げ、職員一同、毎日の業務の中で活かしております。</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>運営理念の実践と取り組みを、ケアの業務の中で表せるよう、日々、取り組んでおります。</p> <p>○</p>	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切に理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>入居者の方々が、地域の中で暮らし続ける事を大切に理念を、御家族や、地域の方々に理解して頂けるよう、取り組んでおります。</p> <p>○</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている</p>	<p>認知症というイメージを払拭させるよう、家庭的な雰囲気作りに努め、周囲の方々にも挨拶を元気よく交わし、気持ちの良い関係作りに努めております。</p> <p>○</p>	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域の方が気軽に参加しやすいホームのイベントや、季節行事などは、チラシやインターネットで情報発信を行い、地域の方々の参加と協力を頂いています。</p> <p>○</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>6</p> <p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>日々のケアが慢性化しないように、系列のグループホーム同志の相互研修を行い、スタッフの資質を上げるよう励んでいます。また、ホームの見学も気軽にきて頂けるよう、努めております。</p>	<p>○</p>	<p>最近では、「認知症高齢者を抱える家族の会」の皆様へ、ホームの見学と説明会を行い、モン・サン井手園が地域にどのような役割を果たしているのかを理解して頂きました。</p>
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>			
<p>7</p> <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>管理者・職員で自己評価・外部評価の内容をファイル・作成し、回覧しており、その中で改善に向けての取り組みを決定し、実施するなど積極的に取り組んでいます。</p>	<p>○</p>	
<p>8</p> <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>現在、運営推進会議を一度も行っておらず、早急に内容の立案・検討を行い、運営推進会議の発足までにつながる様に努めます。</p>	<p>○</p>	<p>運営推進会議を行う上で、評価への取り組み状況等についての話し合いを行い、そこで出た意見をサービス向上につなげていきたいと思っております。</p>
<p>9</p> <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>昨年の夏はグループホームのお祭りを催す際、時津町役場の福祉部の職員の方より、お祭りの開会時に挨拶をして頂きました。地域にアピールできるホームとサービスの向上を目指して、更に取り組んでゆきたいと思っております。</p>	<p>○</p>	
<p>10</p> <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>地域福祉権利擁護事業や成年後見制度に関する研修会や、勉強会などで学ぶ機会があり、必要が生じた際に入居者や御家族にいつでも活用できるように取り組んでいます。</p>	<p>○</p>	
<p>11</p> <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている</p>	<p>管理者や職員は虐待について学ぶ機会を持ち、日々のケアの中で虐待が見過ごされる事がないよう注意し、徹底して防止に努めています。</p>	<p>○</p>	<p>虐待の防止の徹底については、全ての職員が認識し、毎日のケアの中で、虐待が見過ごされる事がないように注意を払い、虐待の防止に努めています。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者や家族には十分な説明を行い、理解・納得を得ています。	○	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々のケアの向上を図るため、入居者の意見を聞き、管理者・職員で十分な話を行い、外部者へ表せる機会を設け、運営に反映させています。	○	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	入居者に変化があれば、すぐにでも報告を行い、定期的に御家族とも連絡を取り、入居者の状況の報告を行っています。	○	入居者の金銭管理については、自身で管理が難しい方には御家族より必要な金額を事務所で預かり、出納帳を用いて本人様が使われたい時に必要な金額が使われております。また、御家族の面会時にその出納を明らかにして、了解を得ています。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会などの際には、御家族の意見や要望があれば、ホームのケアマネージャーや管理者が対応し、改善策を検討するなど意見を運営に反映させている。	○	ホームの2階・事務所前に「意見箱」を設けており、御家族等の意見・不満・苦情を寄せて頂けるようにしております。寄せられたご意見に対しては、迅速に対応と協議を行い改善策を立案し、解決に向けた答えを導き出せるよう努力をしております。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングや会議などで、運営に関する意見や提案をもらい、個人的に話を聞く機会を作っています。	○	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	必要に応じて、職員の勤務体制を変更しており、緊急の場合でもすぐに対応できるよう職員間で調整を行っています。他階の状況把握にも努め、全体で対応できるよう努めています。	○	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用時より顔なじみであったり、職員となじみの関係であるなど、入居者へのダメージを最少限に抑え、入居者が安心して混乱しないような配慮を行っています。	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の得意分野を、それぞれ活かせるように、本人様の意欲や個々の能力が発揮できるように配慮しています。</p>	○
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>モン・サン井手園はグループホーム協議会へ加入し、その研修会等における他ホームとのグループワーク参加等において、お互い違う職場同志のスタッフらで、ケアに対する意見の交換を行ったりして、サービスの質の向上に取り組んでおります。</p>	○
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員のストレス軽減のための措置や工夫を、運営者は常に考えており、意見や要望を常に受け入れる姿勢があります。一環として慰安旅行があったり、系列対抗のボーリング大会が催されました。</p>	○ もっと職場だけの付き合いだけでなく、企画や飲み会などの開催を希望します。
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>職場における実力の把握に努めると共に、自己評価、職員(個人)の話をもとに、必要に応じた育成支援を行うよう努めています。</p>	○
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>面談を行ったり、御家族を交えてのホームの見学の機会を作っています。すぐに入居ではなく、本人様の話を聞く機会を作っており、安心して頂ける関係作りに努めています。</p>	○
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居に関する相談に応じたり、話を聞く機会を作り、御家族が持たれている不安や要望を受け止め、対応を行っています。</p>	○

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に面談や見学の手続きを作り、すぐに入居ではなく、本人様の話を聞く機会をつくっており、安心して頂ける関係作りに努めています。	○	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人様と御家族より必要とされているホームへの要望を伺い、ホームでの生活を始める上での提供するケアの方向性及び、サービス計画書(ケアプラン)をホームのケアマネージャーが作成し、本人様・御家族が納得される内容のサービス計画書を発行・同意を得ています。	○	納得されるまで、何度もお話しを交わし、満足のいくホーム生活に努めてゆきたいと思っております。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者の方々と共に楽しむよう支援を行い、本人様の得意分野や、趣味や興味があることなど、日々の暮らしの中で活かせるように取り組んでいます。	○	
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	入居者の日頃の生活状況を説明すると共に、御家族とも一緒に喜びや悲しみを共有できる関係作りに努めています。	○	
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時などに、入居者の近況を報告し、状況に応じて職員が間に入り会話をしたり、電話で話す機会などを設けています。外出・行事などの際に、御家族にも呼びかけを行い、参加して頂いております。	○	
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人様・御家族からの情報をもとに、馴染みの方の面会や、外出支援などを取り入れています。	○	
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	外出や余暇活動を通じて、入居者の方々同志の交流を図れるような場を作っています。状況に応じて職員が輪の中に入り、会話の橋渡しを努めています。	○	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	いつでも気兼ねなく、気軽に訪問していただけるよう、職員も後々の関係が続いてゆけるように努めております。	○	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者の生活歴など把握した上で意向を踏まえながら、日常の会話やその方の状態から出来る事を見出し、日々の暮らしに活かせるよう支援しています。	○	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者の方・御家族からの情報などをもとに、状況の把握に努めています。	○	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の状況を記録に残し、情報把握に努めています。職員間で情報交換を行い、共有に努めています。	○	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日頃のアセスメントをもとに、課題分析を行い、職員間で話し合い、本人様・御家族の希望に沿えるよう介護計画を作成しています。	○	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は、約6か月ごとに見直しを行い、その都度ケアカンファレンスを実施しています。継続の必要性、現状を把握した上で、介護計画の変更・立案を行っています。	○	その方の状態が変化が見られる場合、介護計画を随時見直しを行い、新たなケアサービスの提供に努めています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者の方々の日々の様子、介護計画の実施状況などを個人記録に残し、職員間での情報の共有に努め、介護計画の見直しの際に活かしています。	○	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ユニットでの入浴介助が困難な方には、リフト浴を利用して頂くなど、状況、要望に応じた支援を行っております。	○	
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域のボランティア学生の受け入れ、警察へのホーム周辺の防犯パトロールのお願い、消防からの消火訓練での指導、小学校からの小学生のホーム訪問の依頼等、周辺地域との関わり合いを大切にしながら、本人様のホーム生活の支援を行っています。	○	
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人様や御家族の意向や必要性に応じて、他のサービスを利用する為の支援を行うにあたっては、当ホームのケアマネジャーを介し、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と協議・検討し、他のサービス利用の活用支援に努めています。	○	本人様や御家族の相談に応じた、他のサービスの為の情報提供や、サービス利用にあたっての説明等をさせていただきます。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	本人様・御家族の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターへ相談を行い、協働する事に努めております。	○	
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療面では、個人々々の定期的な医療機関(眼科・皮膚科等)への病院受診での付き添いと送迎のサービス提供、また、個々の体調の変化を医師に相談出来る協力病院(清水病院)のバックアップ体制が整い、適切な医療が受けられるよう、本人様・御家族に対しても安心してホーム生活を送って頂けるように支援しております。	○	治療に時間を要する歯科の受診も、往診と治療がホームで受けられる体制が整っており、本人様・御家族の要望があれば受けて頂けるようにしております。治療・経過に関しては、御家族へその受診毎に報告をさせて頂いております。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医とのコミュニケーションを築きながら、気軽に相談出来るようにして、入居者の方々が受診・診断・治療を受けられるように支援しています。	○	
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	ホームの看護師が入居者の方の体調を直接本人から伺い、毎日の健康管理に気を配り、必要であれば病院への医師へ電話で症状・状態の相談を行い、必要であれば受診を受けて頂く支援に努めております。	○	毎日の健康状態の変化等を、ホームの看護師は熟知しており、ケアにあたる職員も入居者の身体状態の変化を見逃さず、何か異常が見られれば逐一、ホームの看護師へ相談・報告を行っています。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	医療職との情報交換を行い、その方の症状に応じて、早期治療・早期退院へ向けての話し合いや、相談・協力を努めております。	○	認知症の方が長期に亘る入院が、認知症の進行を進めてしまう事を協力病院(清水病院)は熟知しており、ホームへの早い復帰へ向けた早期治療・早期退院に努めております。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	御家族を交えての主治医からの病状説明を行い、繰り返し話し合いを行って、全員で情報を共有しております。	○	
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	その方の「できること・できないこと」を見極めた上で、御家族の方・主治医との相談・話し合いを何度も行い、その方により良いケアの提供・支援に取り組んでいます。	○	
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	生活状況・健康状態など必要な情報を話し合い、住み替えによるダメージを防ぐ事に努めております。	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	○	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	○	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	○	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	○	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	○	
55	○本人の嗜好の支援 本人様が望むお酒、飲み物、おやつ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	○	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	入居者の状況に合わせて、出来るだけオムツの使用を減らし、排泄パターンの把握に努め、トイレへの声掛け・誘導を行っています。	○	
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日でも入浴できるよう支援しており、入居者の希望の時間を聞き、希望に沿った入浴の支援を行っています。	○	
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	入居者の状態に合わせて、休憩や臥床を促すなどの支援を行っています。また、日中の活動を充実させることで、昼夜逆転を防ぎ、夜の安眠に繋がるよう努めております。	○	
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人様や御家族より入居前の状況を伺い、出来ることは継続し、楽しみや気分転換のための外出、行事等を計画・提供に努めております。	○	
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者の力量に応じて、買い物の際に財布を持って頂き、支払いを行って頂いております。	○	金銭管理が可能な方は自己管理して頂き、困難な方には、事務所で管理させて頂き、必要に応じて本人様が使用して頂くよう努めております。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物などの機会を設けていますが、その都度、希望に添えるよう支援しております。	○	
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	本人様・御家族の希望を受け入れ、その希望に添えるよう計画を立て、支援しております。	○	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話でのやり取りをするための支援を行い、手紙を書きたいが思うように書けない方には代筆を行い、その方の希望に合わせた通信の支援を行っています。	○	
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも訪問して頂けるよう、御家族や面会の方々にはお伝えしており、お茶の為のお湯の提供や、弁当を温めるためのレンジの提供など、気兼ねのない雰囲気作りに努めております。	○	
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についてミーティングなどで話し合い、日々のケアの中で拘束が該当していないか、振り返り、身体拘束を行わないケアに取り組んでおります。	○	身体拘束に関する研修や講演会に参加し、拘束を行わないケアの在り方を学習し、全職員が周知するように取り組んでいます。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間は除いて施錠はせず、出入りが自由に出来る環境作りに努めております。	○	夜間は、外部からの防犯の意味で夜の就寝時間から、朝まで玄関のほうを施錠しております。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	訪室機会を作り、転倒リスクが高い方などに負担にならないよう、声掛けや見守りを行っています。	○	
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	鋭利な刃物や、裁縫道具を使用して頂く際には、職員が側で必ず見守りを行い、入居者の方に危険が及ばないよう努めております。使用しない時には預らせて頂き、入居者の目の届かない場所へ保管しております。	○	
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	再度同じ事を繰り返さないよう、職員間で話し合いを行っています。ミーティングや、日々の申し送り等で話し合い、事故防止に努め、取り組んでいます。	○	再発防止の取り組みに向け、ひやりはっと報告書を上げ、職員間で事故の再発防止に取り組んでいます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	容体急変や事故発生時の対応マニュアルをもとに、繰り返し学習を行い、実践に即した知識を活かすよう努めております。	○	職員間での応急手当の練習を、繰り返し行って、緊急時に対応できるよう努めてゆきます。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は定期的に行われています。地域の人々の協力も得られるようにしています。	○	
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	御家族の方々には、質問されたことに関しては納得されるように説明して、入居者の方・御家族・職員とともに抑圧感なく、楽しく生活出来るようにしています。	○	
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタル測定を行い、数値異常時には看護師へ報告・相談しながら、指示のもとに頻回測定し、主治医・看護師の指示があるまで対応を行っております。	○	ケアに携わる者すべてが情報を共有し、対応出来るように努める。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者ごとに服薬説明書があり、携わる職員全てがその内容を把握できるように、薬の管理を行っております。飲み忘れがないよう必ず服用確認を行っております。	○	服用忘れがないように、常に気をつけて使用している薬の目的・副作用・用法・用量を理解し、医師の指示通り確認し、服薬の支援をしています。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	運動不足解消のための軽い運動を勧めたり、食事メニューに繊維質が多いものを取り入れたり、主治医の指示による服薬支援も加えて行っております。	○	年齢とともに、食事摂取量と運動量の減少が見られるので、食べ物の工夫、適度な運動を心掛けて努めていくようにしています。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の歯みがきは、職員が声掛けを行い、自身で行なうように努めております。自分自身で出来ない入居者の方には介助により支援をしています。	○	口腔内の清潔、常に気を配り日常的に支援してゆくように努めております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事ごと、水分摂取ごとに記録を行い、摂取状況を全ての職員が把握できるように努めております。	○	
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザの予防接種をい受けており、感染症対策として、食事前には必ず、手洗い、消毒を行い、手拭きタオルは個人でこまめに交換をしています。	○	
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は毎日新しいものが届き、調理器具は使用ごとに殺菌と消毒に努め、衛生管理に気を配っております。	○	
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先にプランターを設置し、明るい空間作りを心掛けて、入居者の方々が作られた小物等を展示しております。	○	
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには季節の花が飾っており、装飾品も家庭的な物を揃え、心地よく過ごして頂けるよう、空間作りに努めております。	○	
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールにはソファ、廊下には椅子を設置しており、仲のいい人同志や、一人で過ごせる居場所を提供させて頂いております。	○	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人様・御家族と相談を行いながら、使い慣れた生活用品を持って来て頂くよう、ホームで居心地良く安心して過ごして頂くよう努めております。	○	
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	外気温と入居者の方々の状態に合わせた換気と空調を行っております。	○	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者の方々の身体状態に合わせて、浴室や廊下、居室に手すりを設け、工夫をしています。	○	
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	入居者の能力が活かせるよう、掃除・洗濯・炊事などを職員見守りのもとで、お手伝いして頂いております。	○	入居者個々の力を活かすことを日々努力し、自立の支援をしています。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物周辺に花壇を作っており、季節に合った花を育てており、育った花を摘んで、共用スペースへ飾っております。	○	

V. サービスの成果に関する項目	
項目	最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある
	<input type="radio"/> ②数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> ③たまにある
	<input type="radio"/> ④ほとんどない
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
94 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> ④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="checkbox"/> ①ほぼ毎日のように
		<input type="checkbox"/> ②数日に1回程度
		<input checked="" type="checkbox"/> ③たまに
		<input type="checkbox"/> ④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="checkbox"/> ①大いに増えている
		<input checked="" type="checkbox"/> ②少しずつ増えている
		<input type="checkbox"/> ③あまり増えていない
		<input type="checkbox"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての職員が
		<input checked="" type="checkbox"/> ②職員の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/> ③職員の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての家族等が
		<input type="checkbox"/> ②家族等の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/> ③家族等の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

日々、常に声を聞き(入居者の方の)、相手の立場になって物事を考え、ケア業務を行っています。